

「我がまま＝わがまま」に過ごせる 高齢者の住まいでありたい

株式会社マザアスは、住宅メーカーのミサワホームグループの介護の運営会社として、介護保険制度導入前となる今から20年前の平成5年に『介護専用型高齢者住宅(現在の介護付き有料老人ホーム)マザアス南柏』の開設にあわせて生まれました。現在は千葉県^の柏・松戸・流山エリア、東京都^の品川、世田谷、杉並、武蔵野エリア、北海道^の札幌エリアで15のホームを運営しています。

介護事業への参入にあたっては、親会社のミサワホームでは企業理念として「住まいを通じて生涯のお付き合い」を掲げ、具体的に生涯のお付き合いの具現化について、60歳代の団塊の世代の方々から100歳を迎える方々まで幅広い時間軸を3つの区分に分けて考えています。1つ目は高齢期を準備する段階としての「プレ・リタイアメント期」、2つ目は、まだ活動的にできる「アクティブ・リタイアメント期」、そして3つ目は介護が必要になられた方の「パッシブ・リタイアメント期」となります。そのような発想のなかで、今から20年前に、自立した高齢者を対象にした事業からスタートしたのではなく、まず3つ目の介護期をきちんと支えるところからスタートしたことが原点にあります。

また、介護の運営会社として、社是を「納得」「満足」「継続」としています。そこには介護の仕事を通じて、入居者の周りで支えている方々の「納得」をいただき、入居者や利用者の「満足」はもとより、われわれ社員がそれを「継続」できてこそ評価されるのだということを基本にしています。

現在、開設20年を迎える「マザアス南柏」では毎年20人前後の入居者が館内で最期を迎え、ほとんどの方が家族の要望により、館内で葬儀をしています。このマザアス南柏を中心に、認知症の方を対象にしたグループホーム、在宅介護を前提とした小規模多機能型居宅介護、ショートステイ、デイサービス、住宅改修、福祉用具、訪問事業、主に自立から要支援の方を対象に

したサービス付き高齢者向け住宅を運営し、自立から介護までの地域のネットワークをつなぎながら「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる仕組みづくり」を、さらにほかのエリアでも実践していきたいと考えています。

最近の傾向として、一口に「高齢者住宅」といってもいろいろ種類があり、複雑で何度説明を聞いてもわかりにくいという声は、われわれの周りでも数多く聞かれます。たしかに、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、シルバーハウジング等々、すべて高齢者の住宅であり、わかりにくいのも事実だと思います。

私は高齢者住宅経営者連絡協議会の監査役をお引き受けしていますが、いつも入居者の方々とお話ししていると、皆さん年を重ねても自分らしく生きたいという願いは共通です。

その方らしくあるためには「我がまま」なのは当然のことです。お一人おひとりの人生に想いを馳せ、生き方や価値観、生活習慣、趣味嗜好などを尊重しながら、「わが家」のように「あるがままに、我がままに」過ごせる高齢者住宅づくりが大切ではないでしょうか。制度上の類型や枠組みを超えた当協議会の活動を通じて、良質な高齢者住宅の運営をめざす団体に向けて、微力ながらご協力できれば幸いです。

吉田 肇

よしだ・はじめ

●PROFILE

昭和58年ミサワホーム株式会社入社。株式会社マザアス代表取締役社長。株式会社ニューライフフロンティア代表取締役社長。高齢者住宅経営者連絡協議会監査役。

